

## 会 柳 川 吉 日

金も暇もあるけど身体動かない  
 老い一人ぼんやり昨日忘れかけ  
 ぼんやりとするなと秋の陽は早い  
 仕事無くぼんやり過ごす日も多い  
 落選でぼんやりしてる主の靴  
 夫の介護疲れぼんやり夜が明ける  
 ぼんやりとしてるようでもそつがない  
 ぼんやりの記憶も新た原爆忌  
 安全が今日も泣いてる社会面  
 安全を確かめて寝るガスコンロ  
 寝たきりへ安心させる嘘を言い  
 時に嘘ついて励まし日々介護  
 ハウス育ち季節知らない花野菜  
 満腹の夕食膳へ手を合わす  
 何時か出る必ず出るぞのど自慢  
 唯一の余暇を子供とシヨッピング

川添 忠昭  
 芝 智恵子  
 渡辺 満男  
 水野 貞子  
 熊本 忠真  
 渡辺 照子  
 山本 雅之  
 栗木 一郎  
 松岡 正志  
 小越 安隆  
 清家 厚美  
 宇津本アヤ子  
 宮本ヨリヲ  
 大野モモエ  
 音地 明彦  
 林 久美

## 会 歌 短 見 広

歩測して息子の家は此処にする父の笑顔や早十七回忌  
 菜園のキュウリトマトは次々に成りて豊かな老ひの食卓  
 前進座三浦綾子の「銃口」を指定席に観る敗戦日近し  
 みどり濃き梅雨の晴れ間の峡の空枯松赤く絵を見る如し  
 気障っぽくベレーかぶりて旅に出る亡夫の姿が眼裏にあり  
 ソーメン流しテレビのニュース見て来たと県外からも安森洞へ  
 風食堂で打ち上げ花火に時忘れ孫等は我れと線香花火  
 給付金で道後の宿での泣き笑い姉妹姪との八人の旅  
 年齢ごとに母の気持の解りきて強き言葉を今詫びており  
 一輝の螳螂の子を手に乗せて大きくなれよと草むらに返す  
 御開山に歌の友あり会終へて合歓咲く谷を幾曲がりする

橋本 加代  
 蛭谷 寿子  
 武田 幸子  
 兵田トミ子  
 渡辺キヨ子  
 伊手リツエ  
 松崎 静香  
 二宮 安恵  
 高田 治子  
 佐々木登美子  
 山本まつゑ

## Christopher's Story No.37

「Travels in Korea」

9月20日から26日まで韓国に行きました。

韓国では背の高い人が多いことに大変驚きました。私の身長（184cm）と同じ位の女性を多く見かけました。又、韓国の方はとても優しく旅行中もとても親切にしてくれました。

韓国では軍事境界線に行きました。軍事境界線とは、韓国と北朝鮮が実効支配地域を分割している境界線のことで日本では38度線とも言われています。北朝鮮側には監視している兵士の姿もあり、緊張が感じられました。

この地域は現在も地雷が一面に敷設されており危険な場所です。車を運転している時にも道路の両側に地雷注意の看板をよく目にしました。しかし渡り鳥たちにとっては、地雷の敷設により人が寄り付かない場所となっているため、翼を休める絶好の楽園となっているようです。

日本にも広島原爆ドームや長崎の平和公園のように戦争がもたらした悲劇を象徴する場所がありますが軍事境界線も又、戦争の歴史を物語る場所の一つであり、今回訪れて改めて戦争の怖さを知ることができました。

世界では今でも戦争や内戦が行われて、罪のない人たちの命がたくさん失われています。

一日でも早く平和な世界が訪れることを願っています。